

沃土

布部小学校だより
2月号
平成31年2月28日

～笑顔があふれ、笑い声がこだまする布部小学校～

自分から進んで
あいさつする子に
なろう

あいてのことを
考える子になろう

すぐにあきらめずに
がんばってみる子に
なろう

～人権・同和教育の取り組み～

「人権の世紀」といわれる21世紀。その21世紀になって、早いものでもうすぐ20年が経とうとしています。

20世紀、人類は二度にわたる世界大戦を経験し「平和のないところには人権は存在しない」「人権のないところに平和は存在しない」という教訓を得ました。人権の尊重が平和の基礎であることは、世界共通の認識です。

平和を希求し活動をされた、布部の先輩加納莞蕾さん。その功績から、安来市の「平和のつどい」は布部で開催され、安来市においては、「平和といえば布部」といわれるほどです。

私たちのかけがえのない宝である子ども達。その子ども達が生きるこれからの社会は、平和な社会であってほしいと思います。

平和な社会を実現していきたいという願いを込めて、3学期、人権・同和教育を柱に学校教育の取り組みを進めました。

人権集会に向けて〔1月17日〕

本校は、今年度「道徳、人権・同和教育」を主として研究に取り組んでいます。そこで、今学期は、子ども達が主体的に人権について考え、みんなが気持ちよく過ごし、よりよい布部小学校とするための取組となるよう、話し合い活動を取り入れながら、全校で人権について学ぶ活動をしました。

1月17日の活動では、まずは人権ということについて学びました。

人権という言葉を目にするにはありますが、「人権とは?」「人権を大切にするととは?」と問われると、なかなか明確に話ができる子どもはいません。

そこで、人権について先生のお話を聞いたり、人権についての本を読んでもらったりしながら、「人権ってどういうこと」について考えました。

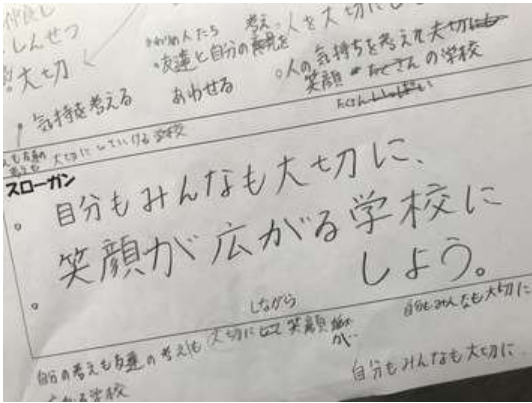
次に、「みんなが安心して楽しくすごせる布部小学校にするためにはどうすればよいのだろうか?」という提案について考えました。この活動を通して、子ども達は、人権を大切にすることについて学びました。



学んでいたと思います。

全校児童一人一人が考えを出し合い、なかよし班でまとめ、作り上げたのが「ふべっこ人権スローガン」です。一人一人の思いの詰まった言葉を、スローガンとしてまとめていくのは大変な作業でしたが、6年生がリーダーシップを発揮してよくがんばりました。

この活動のあと、みんなで作り上げた「ふべっこ人権スローガン」をもとに、各学級で「これから宣言」を考えるなど、様々な取り組みを進めました。



人権・同和教育授業公開日〔1月26日〕

1月の授業公開日では、全学級人権・同和教育に関する授業を公開しました。公開した授業は、「あいてを思いやって」(1,2年道徳)、「分けへだてをしないで」(3,4年道徳)、「にこにこ学級の『これから宣言』を決めよう」(にこにこ学級)、「どんな仕事があるのかな」(すくすく学級)、「世界に歩み出した日本」(5,6年社会科)です。

中でも、5,6年社会科で公開した授業は、人権・同和教育問題に関する内容でした。

5,6年生はこれまで歴史を勉強しながら、身分上厳しく差別されてきた人々について学習してきました。そして学習を通して「差別は間違っている」という気づきを得ています。

公開した授業では、「差別されてきた人々が、厳しい差別に負けずに、自らの力で差別をなくそうと水平社を結成したことに気づく」ことをねらいとしました。

子ども達が、この授業で、差別の理不尽さを感じ、差別された人々が自らの力で差別をなくそうと立ち向かい、行動したことを学び、自分の生き方を考える上で生かしてほしいと思いました。



人権・同和教育講演会「伝えたい思い」〔1月26日〕

公開授業のあとには、安来市人権・同和教育推進協議会団体部会部長の森山茂樹さんをお招きし、講演を

していただきました。保護者の皆さん、教職員に加え、布部や西谷の地区の皆さんも参加してくださいました。

森山さんがお話しされたテーマは「伝えたい思い」。森山さんが優しく温かい語り口で、わかりやすく、そして、参加者が自分のこととして考えさせられるように、お話をしてくださり、同和問題について考えることができました。講演後は、少人数で感想を伝え合いました。



講演会の感想から

○体験されたことを話されていて、とてもいい講演会が聞けて良かったです。同和問題だけでなく、今の世の中で起きているいじめや差別など、いろいろな話を聞いて、押しつけるのではなく一人一人にあった生き方や気楽に気軽に話せるそんな世の中であってほしいと思いました。

○人は知らないことや体験していないと分からない事に対してなかなか受け入れることが難しいと思いました。私は表面上しか理解していないからかもしれませんが、講師の先生のようにぶれない気持ちを貫く事はできない気がしています。「偏見は無知から生ず」と言われますが、今回のようなお話を聞く機会を通して人ごとではなく、人として人らしく生きることを自分なりに向き合っていきたいと思います。

○同和問題は今やないのではと思ってしまいがちです。同和地区で暮らす方は、今でもいろいろな思いや差別を感じておられることを知ることが大切です。森山さんは、結婚されて安来に住まわれてから同和問題に対しての活動をされ、地域でもお話を聞いてもらいたいです。

○机上論のような話を聞くより、講師の実体験を聞いたことは大変わかりやすくいろいろと参考になった。

○森山先生の生きてこられたお話ということで、大変わかりやすく聴かせていただきました。

人権集会〔2月20日〕

2月20日には、なかよし班や各学級で積み上げてきた人権・同和教育の取り組みをまとめ、発表する人権集会を行いました。6年生が会を進行し、子どもと教職員全員で仲良くなるゲームをした後、「ふべっこ人権スローガン」をもとにして、各学級で考えた「これから宣言」を発表しました。どの学級も、自分たちの学級の実態をよく見つ



め、がんばりたいことを発表していました。子ども達の発表の言葉の中に「考えたことをほんとうにします」「決めたことをがんばります」という決意の言葉があり、力強さを感じました。

その後、なかよし班で輪になり、一人一人が人権標語を考え発表しました。1年生にとって標語作りは難しい活動でしたが、高学年が、やさしく教えていました。

この集会の最後に、6年生があいさつの中で「今日だけではなく、これからも仲のよい布部小学校にしていきましょう。」と伝えていたのが印象的でした。

子ども達の思いを大切に、ここまで積み上げてきた取組です。今後も、今回の取組をよりどころとしながら、仲の良い笑顔があふれる布部小学校をめざしていきたいと思います。



子ども達で作った標語を紹介します（今回は1年生のみ紹介します）

- ・こまっている人をたすけると、ないている人がへるよ（Rさん）
- ・やさしいきもち えがおのきもち あそんでくれてありがとう（Eさん）
- ・やさしくしよう こまっていたら たすけるよ（Sさん）

【3月の主な予定】

- 3月 1日（金） 全校朝礼、6年生をおくる会
- 3月 4日（月） ぽっかぽかの会読み聞かせ
- 3月 5日（火） 委員会活動（最終）
- 3月 6日（水） 地区子ども会
- 3月13日（水） 卒業式予行練習
- 3月15日（金） 卒業証書授与式
- 3月18日（月） 外国語活動
- 3月20日（水） 給食終了
- 3月22日（金） 修了式・離任式

※ 4月はじめの主な動き

- 4月8日（月） 平成31年度始業式
- 4月9日（火） 入学式
- 4月10日（水） 給食開始（2年生以上）